

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 RI会長  
K. R. ラビンドラン 氏

**例会予定** 9月 9日 外部卓話 かしわ学園施設長  
9月16日 移動例会 9月12日納涼会

VOL. 53 No. 9(通算No. 2450)

2015年 9月 2日(水) 例会プログラム

点 鐘  
君が代・ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
SAA報告  
諸報告  
幹事報告  
会長挨拶  
地区会長・幹事会報告  
常総地区グランドゴルフ協会挨拶・活動報告



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。

鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色をもっとも的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

2015-2016年度 会 長 海老原良夫 幹 事 松崎隆詞

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



## 9月は基本的教育と識字率向上月間

例会報告 VOL. 53 No. 8 (No. 2449) 8月26日(水)曇り時々雨(司会 石井康弘委員長)

### 本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎オーストラリア交換学生帰国報告・地区研究会報告

### ビジター

ツウンバ交換学生 Y・Oさん 保護者

### 幹事報告 松崎隆詞幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

### 会長挨拶 海老原良夫会長 2015. 8.26『節目の年』<日本は戦後70年:クラブは50周年後3年>



私たちのクラブは三世代の会員で構成されております。終戦70年が経ち、太平洋戦争が、戦前・戦中生まれの会員には「同時代の出来事」から戦後生まれの会員には「歴史の中の出来事」に移行し、解釈が変わる端境期を迎えています。

4年前、平成23年8月31日。この例会場で『戦時学徒軍需工場動員』の体験談が語られました。太平洋戦争が「同時代の出来事」であった飯塚会員の『戦争はしてはいけないもの、ドラマや映画では推し量ることのできない残酷なものだ』という卓話でした。

それを戦後生まれの会員は「歴史の中の出来事」として拝聴したものでした。

2週間前、8月12日。私は映画「日本のいちばん長い日」を観てきました。70年前の8月15日をめぐる24時間に繰り広げられた『降伏か、決戦か。「聖断」を下した昭和天皇をはじめ、鈴木貫太郎首相、阿南惟幾陸軍大臣らを軸に、極限的な攻防が続いた長い一日』を描いた映画でした。『戦争の愚かさ、戦争を美化する歴史的修正の恐怖』がテーマでした。

ところで、京都の老舗で『手前どもは先の大戦で・・・』この場合の先の大戦とは応仁の乱を指すのだ、というほどの京都の歴史と伝統を物語るエピソードもあるようですが、本年が戦後70年と言われているのは、言わずもがな昭和20年を起点としています。

が、敢えて本年を日露戦争後110年として、明治38年を起点にするとうなるか。

その日露戦争の戦勝について、日本の近現代史を研究する歴史家は『戦史を正確に編纂できる国、戦争を美談にしない国・・・ではなく・・・日本は残念ながら、日露戦争がぎりぎりの辛勝だった事実を隠した国でした』と論じています。また或る作家も『ロシアは自らに敗けたところが多く、日本はきわどい勝利を拾い続けたのであった。戦後の日本はこれを国民に教えようとせず、国民もそれを知らうとしなかった。国家と国民が狂いだして太平洋戦争をやったのけて敗北するのは、日露戦争後わずか40年後のことである』『敗戦が国民に理性を与え、勝利が国民を狂気にするとすれば長い民族の歴史からみれば戦争の勝敗などというものはまことに不可思議なものである』と書いています。

すなわち日露戦争戦勝を起点にすると本年は戦後110年となるわけです。

さて今月8月は各種メディアに、戦後70年節目の年をどう捉えるかに様々な論説が溢れています。私は、国の内外から沸騰するそれらの諸説を拾い読みしながら、一方で水海道クラブ50周年の節目の年を思い起こします。時の青木正弘会長が『今日から100周年に向けて新たな歩みを始めて参ります』実行委員長故鈴木豊氏が『未来へ向かって夢、希望を語り合おう』と宣言した、あの日から早や3年が過ぎました。

私は、熊谷・染谷秀雄年度がそうであったように、武藤・山野井年度がそうであったように、2015～16年度も水海道RCの先人が築いてこられた名声を貶めることなきよう誠心誠意クラブの運営に努力します。

「節目の年」50周年後3年。本年は戦前・戦中・戦後生まれの会員55名で構成されています。生まれた世代の違いを超えて、55名にはひとつの共通項があります。

## 9月は基本的教育と識字率向上月間

53年目のクラブの歴史を紡いでいる『水海道 RC クラブ史中の人物である』という。

### ツウンバ交換学生帰国報告



この度、水海道ロータリークラブ短期交換留学生としてお世話になりました Y・O と申します。まずはじめに、このような大変貴重な機会を与えて頂き誠にありがとうございました。今回の留学で私たち兄弟はオーストラリアで現地の方とコミュニケーションを図る積極性や実用的な英語を考え話す英語力、そして日本にはないオーストラリア独特の開放的な文化を学ぶことが出来ました。オーストラリアの観光名所や日本に生息しない珍しい動物と毎日のように出会える日々はとても新鮮で有意義な時間でした。今回の留学は私にとって初の海外であり「海外は素晴らしい所だ、また行きたい」と思える非常に良いスタートが切れたと感じております。今回の留学の経験を存分に活かし今後の人生でさらに幅広い国際的な発想ができるよう努力したいと思っております。水海道ロータリークラブの皆様、本当にありがとうございました。



## 9月は基本的教育と識字率向上月間



### 地区研究会報告

#### 青少年奉仕研究会 熊谷 昇青少年奉仕委員長



7月20日第2820地区青少年奉仕研究会が日立市のホテル天地閣で午後12時30分より倉沢ガバナーの点鐘でスタート致しました。鈴木稔総括委員長から挨拶と趣旨説明が行われ、その後、各委員会から活動報告がなされました。インターアクト委員会では、各学校の担当教諭とクラブ部長が出席され、クラブの会員数や日々のボランティア活動の実績をパワーポイントを使用し報告いただきました。

ローターアクト委員会からは、地区体表並びにメンバーが参加し活動実績の報告と会員拡大の難しさに直面しているの、各RCの協力をお願いしたいとのことでした。

また、ライラ委員会からは今年の10月のセミナーの参加要請があり、青少年交換委員会からは2016年度一年交換留学生の募集を開始したとの報告がありました。

#### 米山記念奨学会研究会 熊谷 昇米山カウンセラー

クラブ米山記念奨学委員長およびカウンセラー合同セミナーが8月1日水戸三の丸ホテルで開催されました。菊池総括委員長より各クラブへの米山寄付の状況について資料をもとに報告されました。今年度から世話ク

## 9月は基本的教育と識字率向上月間

ラブと準世話クラブで米山奨学生の支援を全国に先駆けて開始するので、クラブ間の連携はもちろん学生とのコミュニケーションをしっかりとっていただき、奨学金の寄付活動につなげてもらいたいとのことでした。今年も各会員の寄付をよろしくお願い致します。

### 出席報告 荒井孝典委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メイク	出席率
55名	36名	19名	0名	2名	65.45%

### ニコニコボックス 染谷秀雄委員長

入金計 ¥25,000 累計 ¥384,000

先日は「会長経験者の集い」にて貴重なご指導を賜りありがとうございました。海老原会員  
「第1回会長・幹事会」会長共々参加して参りました。Oさんお帰りなさい。松崎会員  
髪型は別にして、気温の差がございました。お体にご自愛下さい。石井会員  
水海道JC設立35周年式典に参加してきました。青木(英)会員  
台風がそれて今年が良いですね。山野井会員  
先週財団の表彰を受けました。石塚(克)会員  
ツウンバ短期留学大変お疲れ様でした。Oさん、帰国報告を楽しみにしております。五木田(裕)会員  
オーストラリアツウンバ交換学生、Oさんお帰りなさい。斎藤会員  
Y・Oさん、お帰りなさい。報告楽しみにしています。石塚(克)会員  
交換学生の皆さん、楽しんでいただけましたか。本日早退します。染谷(秀)会員  
5人目の孫が誕生しました。これで我が子供たち3人全員に子供を授かりました。内訳は男子3人女子2人  
となります。神様に感謝、感謝です。青木(正)会員  
花火席購入しました。松村・石塚(利)各会員  
欠席しました。倉持会員

会報委員会 二本松恭行委員長 亀崎徳彦副委員長 本橋美章委員

## ロータリーグローバルワードで賢く働く

親愛なるロータリアンの皆さん、あるところにたくましい若者がいました。この若者は、与えられた自らの仕事に精力的に取りかかり、最初の週は18本の薪を割りました。2週目も同じくらいがんばりましたが、驚いたことに、割った薪はわずか11本でした。3週目は朝から晩まで働き続けたにもかかわらず、わずか6本しか割れませんでした。がっかりした彼は親方に仕事を辞めたいと申し出ました。「力が衰えてきました。前ほどたくさん薪が割れません」

いたって健康そうな若者を見て、親方は次のように言いました。「おのを研いでみたかい？」  
「おのを研ぐですって？ そんな時間がどこにあるんですか」と、若者は憤って尋ねました。「薪を割るだけで忙しいというのに！」

仕事が思うようにはかどらない時、2倍がんばろうとするのはごく自然な反応です。しかし、時として、問題の解決法はがむしゃらに働くことではなく、賢く働くことにあつたりします。道具を見直し、やり方を分析してみることです。リソースを最も効果的な方法で使っていますか？切れないおので薪を割ろうとしていませんか？

## 9月は基本的教育と識字率向上月間

これまで20年間、私たちはロータリーで会員増強を声高に訴えてきました。目標を立て、キャンペーンを立ち上げて、会員を増やすことだけに注力してきました。しかし、ロータリー全体の会員数は依然として横ばいです。

今こそ、道具を研ぐ時が来たのです。「もっと会員を入れるにはどうすればよいか」に注意を向けるのではなく、「入会を増やし、退会を減らすために、ロータリーの会員であることの価値をどう高められるか」と問うべきなのです。

その一つの方法が、7月に開始された新しい「ロータリーグローバルリワード」プログラムです。この画期的なプログラムで、ロータリアンは、世界中のビジネスやサービス業者とつながり、割引や特典を受けることができます。ロータリーとの交渉により参加した企業に加え、ロータリアンも自らのビジネスの参加を申し込むことができます。また、利用ごとに参加企業が利益の一部をロータリー財団に還元するオプションも設けられており、すでにこれを採用している企業もあります。ラインアップは毎月更新され、特典が追加されていく予定です。今すぐ Rotary.org から My Rotary に登録し、このプログラムをご利用ください。利用者が増えれば増えるほど、プログラムが充実し、特典も増えていくでしょう。

「ロータリーグローバルリワード」は、単なる顧客ロイヤルティプログラムの枠にとどまるものではありません。ビジネスと奉仕を組み合わせたこのプログラムは、ロータリアンであること、ロータリーネットワークの一員であることの価値とメリットを増す新しい方法です。入会を誘われたら、誰もがこう自問するでしょう。「自分にとってどんなメリットがあるのか?」。ロータリアンになれば、ほかの人の人生だけでなく、自らの人生も豊かにできることを示すことによって、ロータリーが持つ価値をはっきりと証明する必要があるのです。

K. R. RAVINDRAN  
PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2014 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press **ロータリーの友**

一般社団法人ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階  
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956 email hensyu@rotary-no-tomo.jp



写真提供:青木正弘会員